

神戸大学海事科学部オープンキャンパス2013

「海事博物館の公開」

海事博物館は、広く海事に関する内外の資料を収集し、展示して、教育と研究の参考に資するとともに、海事思想の普及に寄与することを目的として、学内外に向けて収蔵品の一部を常設展示し公開しています。オープンキャンパスに併せて特別に博物館の公開を行っています。

実施日時： 8月8日（木）10：00～16：00

実施会場： 海事博物館

※ 事前申込みは必要ありません。随時、自由にご覧いただけます。入場は無料です。

展示内容：常設展示及び企画展「進水式絵葉書にみる船の変遷」

神戸大学海事博物館は定例の「海の日」記念事業として、日本財団の支援を受けて海と船の企画展「進水式絵葉書にみる船の変遷」を開催しています。

造船所では新造した船の進水記念として絵葉書を作成していました。これらの絵葉書は進水式関係者に少数配られるだけの貴重なものです。企画展では、当館所蔵の絵葉書を造船所ごとにまとめ、それら造船所ごとの絵葉書と併せて関連する船模型を展示し、日本における建造船の変遷をわかりやすく解説しています。すでに解体され、実際の姿を目にすることのできない船まで、数々の船が一堂に会した色鮮やかな船の勇姿をご覧いただけます。

1) 進水式絵葉書

当館で所蔵する進水式絵葉書（約2500枚）を造船所ごとに整理しておもだったものを展示しています。進水式の記念絵葉書は一般に発売されることはなく、進水式に参加した人だけが手にすることができたものであり、一般の人が目にする機会があまりない貴重なものです。

2) 船模型

進水式絵葉書に描かれている船は二次元平面であり、また完成した状態の描写ではないので、実際に進水した船の形状が理解できるように三次元の船模型と併せて展示を行っています。また、絵葉書で描かれた様子と船模型との違いについても解説を行っています。

3) 造船関連資料

進水式絵葉書は進水式において配布されるため、完成した船の状態を描写したものではなく、設計図から完成図を予測して描いていました。そのため、船の設計図を読むことのできる技師がこれらの絵葉書を描いていました。どのような資料を基に絵葉書が描かれたかについての展示も行っています。